

# 荒川化学「環境・社会報告書2018」のアンケート結果

「環境・社会報告書2018」に添付しましたアンケートに対し、41名(グループ従業員を除く)の方々から回答をいただきました。ご協力いただいたの方々に対して厚くお礼を申し上げますとともに、その内容をご紹介します。

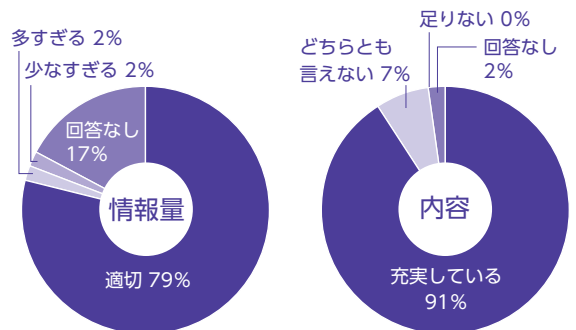
## ■環境・社会報告書全体への感想

- 経営理念、ビジョン、価値感、行動指針が明確でわかりやすく大変よい。また安全・環境管理は原因究明・再発防止に努め、化学会社のモデルになるよう進めてほしい。
- 地域社会との関係強化は好感がもてる。活動をもっと取り上げてほしい。当然事故を起こした工場周辺も同様であります。
- 自社の事故をしっかりと見つけ検証していることに誠実な信頼感を感じました。
- 自社の事業活動をSDGsの17項目のうち、どれに該当するかをとりあえず紐づけされているのは、今後の具体的な活動で落とし込みに役立つと思われます(今後、実務への落とし込みがさらに重要です)。
- 各コラムごとに社員の方々が登場し、感想を述べておられるのは、社員の顔が私たちにも見え、とても親しみを覚えます。
- コーティングを“くつつき”と表現している点は現場の人々の感覚がよくわかる。
- 非財務情報の提供媒体としては毎年充実化が図られていると思います。今後は財務情報も併せた「統合報告書」のような形態への進化を期待しています。
- 全体として情報が多く、もう少し整理して文字を大きくするのが対外的には好ましいと思います。

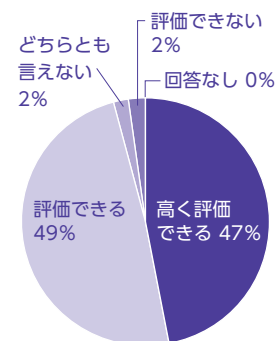
## ■特集への感想

- 長い歳月をかけて育てたアルコンについて、よく理解できました。
- アルコンの良さを生かした開発を素人にもわかりやすく紹介していました。初孫の紙おむつにも使用されている。身近に感じられ誇らしかったです。
- 荒川化学イコールロジックとと思っていましたが、新たな素材に注目されていることがわかりました。新たな素材であっても“くつつき”という点では一貫性があるところに安心感が感じられました。
- 既存製品であり、新規性に乏しい。今まで世界中にない新製品であり、その用途としてこのような分野で期待できるものを見たい。
- 環境配慮型製品比率が増えていくような製品開発に期待したい。
- 背景や今後の取り組みについてまとめられており、わかりやすかったです。
- NEXTを謳っている割には、次世代感が少なかった。

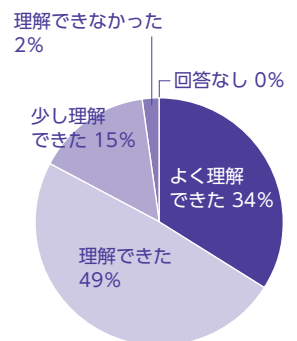
## ■環境・社会報告書全般について



## ■環境面、社会面への取り組みについて



## ■特集について



## ■参考になった、興味を持たれた項目について(複数回答)

